

が必要だといふ意味ではなく、自ら大左翼組合を樹立し、その旗の下に、未組織大衆と、右翼組合に組織されてゐる大衆と、左翼組合に組織されてゐる大衆とを業団に結びつけることが必要だといふ意味である。

(二)さうした意味に於ける眞實の統一戦線の確立は、左翼の指導によつて、全國の各大工場、大経営に、戰團的工場委員会が確立されたときに於てのみ、始めて實現される。だから、我々の基本的な戦線統一方針は、戰團的工場委員会の確立に在るといふことが出来る。

(ホ)従来、長い間『下からの戦線統一』といふことが主張されて來たが、しかし、下からの戦線統一とは何か、といふことは、餘り明白にはされてゐなかつた。だが、今こそ明白に斷言することが出来る。下からの統一とは、戰團的工場委員会の組織を通じて、全大衆を左翼の旗の下へ、結集することである。この方針は、無論、我々の新發明ではなく、國際的に決定せられた左翼の基本的方針である。

(ニ)例へば、或る一工場に、總同盟の組織と、全國労働の組織と、總聯合の組織と、全協の組織と、總評の組織とがあり、なほそのほかに未組織の大衆があると假定する。さ

B 所謂中間派組合の左翼への統一に關する方針

(イ)我國には、既に國家機關化した右翼組合のほかに、所謂『中間派組合』なるものがかなり多數に在る。それらの組合に對しては、それを急速に左翼へ統一する方針が取らなければならない。

(ロ)全協の指導者連中のやうに、一切の合法組合は反動組合だ、などと、簡單に片づけて、いゝ氣になつてゐるやうな態度は、斷乎として排撃すべきだ。我國の所謂中間派組合は、多くは、一定の明確な指導精神を持つてゐない。したがつて、もし左翼がそれと手を握らないならば、右翼が、それを引きさらつて了ふ。

(ハ)中間派組合を對象とする場合にも、無論、工場に於ける統一が、基本の方針でなければならないが、しかし、この場合には、下からの統一方針と並行して、各組合參加の組合會議を結成し、協同闘争のための協議を行ふことが必要である。現に關東地方に於ては、『關東地方労働組合統一協議會』が結成され、様々のカンパについて、協議がなさ

うした場合に、もし總評の指導によつて、その工場に戰團的工場委員会が確立されたならば、その工場の大衆は、組合別や組織未組織別の如何に拘らず、その戰團的工場委員会の旗の下に結集し、協同して闘争を敢行するに至るのである。さうなれば、その工場に於ては、最早や、業団なる統一戦線が確立したことになる。

(ト)更らに、さうした戰團的工場委員会が、各工場に結成され、それが、事々に、産業別の、地域別の、もしくは全國的の工代會議を開催し、その工代會議を通じて、あらゆる經濟闘争、あらゆる政治闘争を敢行するやうになれば、組合組織の多種多様な並立對立にも拘らず、全國的な統一戦線が、事實上、確立されたことになる。無論さうなるには、左翼組合の組織が壓倒的勢力を持つてゐなければ駄目だが)

(チ)右翼組合の組織が、既に國家機關化した——もしくは殆んど國家機關化した——現在に於ては、右の方針以外に、闘争のための統一戦線確立の方法は、全くあり得ないことである。

れてゐる。この種の協議會は、全國的に統一的に結成されるべきである。

(ニ)かゝる組合會議が結成されても、我々は、あせつて、無準備に、組合の合同を計畫すべきではない。工場内の根氣強い不斷の共同闘争を通じて、合同への、眞に左翼的な準備がなされるべきである。